

科目名	医事法学概論		D1-104	担当教員名	後藤 貞人、秋田 真志、小林 功武
単位数	1単位		選択	配当年次	1年次・第1セメスター(前半)
曜日・時限	木曜日・5限目		教室	オンライン授業	
授業概要	<p>本講義は、本学で医療法学を学ぶ学生のために、医事法学的な事項をとりあげて、それらとの関連で、一般法学的な基礎知識を身につけてもらうことを目的としている。具体的には、医療に関するさまざまな問題を例に、民事法及び刑事法の基礎的事項を説明し、実務上の問題・手続等を講師の実際の体験をもとに講義を行う。また、講師の指導の下、刑事の模擬裁判を実演してもらうことにより、刑事裁判の実務を学び、医事法学の実務を理解できるようにする。</p>				
到達目標	<p>医療の現場で事故があった場合をはじめ、医療の現場で生起する様々な法的な問題を取り上げ、それらの問題が起きたときにどのように手続が進むのかについて、その概要を理解できることを目標とする。</p>				
回	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	4/8	刑事裁判について(後藤)	刑事裁判の手続及び実務を解説する。[実務家による授業]		○
2	4/15	医療従事者が関わる法律問題(秋田)	医療関係者が関わりうる法的事例(乳児揺さぶり症候群、インフォームド・コンセント、相続等をめぐる本人・親族間の争い等)と医療従事者の関わり方を解説する。[実務家による授業]		○
3	4/22	医療過誤訴訟(民事)をめぐる諸問題(秋田)	医療過誤事件が起きたときに民事上の手続がどのように進んでいくのか、また医療過誤訴訟で何が重要であり、何が難しいのかを実務をもとに解説する。[実務家による授業]		○
4	4/29	医療事故における「過失」について(小林)	民事責任と刑事責任のいずれの場面でも共通する「過失」について、基本的事項を解説するとともに、実際の裁判例で「過失」が問題となった事例を解説する。[実務家による授業]		○
5	5/6	刑事模擬裁判(1)(後藤、秋田)	事案の概要を説明した上で、検察官・弁護人等の役割を実演してもらい、各手続が終了する都度、講評を行う(主として冒頭手続・証人尋問(主尋問)を取り扱う)。[ロールプレイ][実務家による授業]		○
6	5/13	刑事模擬裁判(2)(秋田、小林)	検察官・弁護人等の役割を実演してもらい、各手続が終了する都度、講評を行う(主として証人尋問(反対尋問)を取り扱う)。[ロールプレイ][実務家による授業]		○
7	5/20	刑事模擬裁判(3)(後藤、小林)	検察官・弁護人等の役割を実演してもらい、各手続が終了する都度、講評を行う(主として被告人質問を取り扱う)。[ロールプレイ][実務家による授業]		○
8	5/27	刑事模擬裁判(4)(後藤、小林)	検察官・弁護人等の役割を実演してもらい、各手続が終了する都度、講評を行う(主として論告・弁論を取り扱う)。[ロールプレイ][実務家による授業]		○
キーワード		医療事故、民事責任、刑事責任、裁判	履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	講師作成のプリントを配付する。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(30%)、②刑事模擬裁判での実演状況(20%)、③レポート(50%) [講義で説明した内容を十分に理解しているかを評価する。]			
授業時間外に必要な学修		法律の中身を、条文で読むだけでなく、実務の話を通じて実感して欲しい。			
学生へのメッセージ		刑事模擬裁判の実演・講評などを通じて、患者からどのようにヒアリングするのが望ましいのか、説得的な説明がどのようなものであるのかなど、医療従事者としての考えを深めて欲しい。 授業時以外に質問がある場合は、小林のメールアドレス(y-kobayashi@yk-law.jp)まで。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。